

とままえ

12

No. 616



風かおる
人が輝き
躍動するまち



まちひと百景

命輝くとは生きている証拠

苫前・古丹別小学校で実施された元釧路市動物園長の山口良雄さんによる道徳特別授業。

山口さんは児童に向け「命輝くとは生きている証拠。自分一人では生きていけないので、互いに支え合うことが必要。もしも困ったときにはタイガとココアのことを思い出してほしい」と述べた。

愛らしく見えるタイガとココアが障がいをもちながらも懸命に生きようとする姿に、児童等も真剣な表情でスクリーンを凝視していた。

- 苫前町表彰式・・・ 2
- 緑ヶ丘公園の樹木に名札付けほか・・・ 3
- おゆうぎ会ほか・・・ 4
- 道徳特別授業ほか・・・ 5
- 年末年始の各施設・機関の業務ほか・・・ 6
- 健康ばんざい・・・ 7
- 学びの広場・・・ 8
- 介護保険ガイド・・・ 9
- 国民年金・川柳・・・ 10
- 住まいる情報・・・ 11
- 町民舞台発表会ギャラリー・・・ 12

まちの人口

人口/3,534人 (男/1,671人:女/1,863人)
世帯数/1,638世帯 (11月30日現在)

本町の発展に功績のあった方々を表彰

～平成24年度 苫前町表彰式～

平成24年度苫前町表彰式が、11月3日の「文化の日」にあわせて「とままえ温泉ふわっと」で挙行された。

本町の発展の礎となられ、各分野でご尽力された受賞者の方々に、心からの賞賛と感謝の言葉を町民の皆様とともに捧げ、祝福申し上げます。

この表彰は、政治、経済、教育、文化、スポーツ、福祉などの各分野で功績のあった方々をはじめ、永年勤続者で業務に精励された方、多額の寄附をされた個人や団体などを表彰するものとして、毎年11月3日の文化の日にあわせて挙行されている。

表彰式では、森町長より「本町発展の陰で各分野において献身的なご努力とご協力を続けられている方々また、町政振興に善意を寄せられている方々が数多くいることは、郷土愛の現れとして町の誇りでもある。今後とも町民の幸福と町政の更なる発展のため一層の努力を注がなければならない」と決意を述べた。

今年度の表彰は、産業における功労者1名、自治、社会福祉、防災関係における勤続者10名に勤続表彰、町の公益のため、多額の金品の寄附をされた1名に善行表彰を、そして町政振興のために寄附をされた2名に感謝状を授与した。

また、町内に80年以上在住し、

家業等を通じ町の発展に貢献された35名にも感謝状と記念品が授与された。

星野恭司町議会議長は「皆様方ご労苦に対し、心から敬意と感謝の意を表します。皆さま方は本町の誇りであり、先覚者の努力を決して無にすることはできない。私どもの前には解決すべき多くの課題を抱えているが、共通課題の克服に向け、町・議会・住民が手を携えながら一体となつて進めていきたい」と祝辞を述べた。

受賞者を代表し功労表彰を受賞した鈴木均さんは「栄誉ある表彰を受けたことは身にあまる光栄である。私どもが今日まで務めさせていただいたことは、ご来賓や地域の皆様のお陰と思っている。この感激の心を忘れず、苫前町のために微力を尽くしていきたい」と感謝の言葉が述べられた。

受賞者は、次のとおり。

(敬称略)

◆功労表彰

〔産業功労者〕

鈴木 均 (古丹別)

農業委員として12年の永きにわたり自作農の維持、農地等の利用関係の調整など本町農業の振興発展に貢献した。

◆勤続表彰

〔自治関係〕

伊藤 昌栄 (興津)

駐在員として20年以上勤続、本町の自治振興に尽くした。

石井 正気 (栄浜)

駐在員として5年以上勤続、本町の自治振興に尽くした。

坂下 茂子 (苫前)

交通安全指導員として20年以上勤続、交通安全運動の推進に尽くした。

〔社会福祉関係〕

笹森 武 (力昼)、大西 豊一 (長島)

磯崎 敏子 (苫前)

社会厚生委員として10年以上勤続し、地域社会及び住民福祉の増進に尽くした。

〔防災関係〕

坂本 武 (力昼)

水難救助員として40年以上勤続し、防災業務に尽くした。

佐々木直洋 (力昼)

岩澤 正幸 (苫前)

能登 末美 (苫前)

水難救助員として20年以上勤続し、防災業務に尽くした。

◆善行表彰

角道トメノ (古丹別)

町の公益のため、多額の金品を寄付した。

◆感謝状

〔寄附〕

矢作 精教 (東京都)、坂川 黙音 (旭)

町に寄附をし、町政の振興に寄与した。

〔在住80年以上〕

村上 ミネ (古丹別)、赤坂 哲 (苫前)

佐々木芳子 (苫前)、濱本 哲也 (苫前)

吉中 清一 (苫前)、石田ユリ子 (古丹別)

朝桐 博 (長島)、荒関 宏 (上平)

高野 照雄 (三豊)、大橋 豊 (小川)

伊藤 清春 (長島)、小林ミチエ (旭)

工藤 博朋 (苫前)、笹 タキ (力昼)

大宮 光雄 (香川)、運上 敬子 (苫前)

鈴木 節子 (長島)、角井 怜子 (力昼)

山岸 正榮 (古丹別)、渡邊キミエ (力昼)

鈴木 信春 (古丹別)、白府 文雄 (上平)

伊藤 久夫 (古丹別)、年代 好子 (古丹別)

橋本 昭一 (香川)、吉田 弘 (古丹別)

田淵ミヨ子 (古丹別)、鎌田 節雄 (苫前)

後藤カヲリ (苫前)、中野 吉晴 (古丹別)

伊藤 稔 (古丹別)

池田 進 (古丹別)

運上 英彦 (三豊)

糸川 啓士 (旭)

越後 幸夫 (苫前)

苫前町内に80年以上在住し、家業等を通じ町の発展に貢献した。



緑ヶ丘公園の樹木に名札付けを実施～苦前町学隣林業グループ～

会員同士が協力し、美しい林を育てることを目的に活動している町学隣林業グループ(柴田文夫会長)による緑ヶ丘公園の樹木への名札付けが10月30日(火)森町長や留萌振興局森林室の及川弘二室長など関係者15名が参加し行われた。

これまで同グループでは、設立40周年を記念し緑ヶ丘公園内への植樹などを実施、同公園に多くの人が訪れるようにと、今年度樹木への名札付けを実施した。

留萌振興局森林室が作成した樹林マップを参考に6月から名札の作成を開始、その時期に咲く花を確認したうえで名札付けを行った。そしてこの日、町の花である25番の「ナナカマド」の名札を付けた。

柴田会長は「名札を付けた樹木は一部であるため、今後はもっと増やしていきたい」と述べた。



公民館・図書室フェスティバル



11月2日～4日までの3日間、町内の各種団体・個人の作品展示や体験コーナー、人形劇などを行う町民文化祭作品展とたくさんのおもちゃを設置した遊べる図書室やおはなし会などを行う図書室フェスティバルなどを含めた公民館フェスティバルが約500名の来館者で開催された。

2日(金)の作品展では、町デイサービスセンターの利用者が来館、見事な作品の出来映えに「上手だね」「きれいだね」などの感想が述べられていた。

また、4日(日)の親子人形劇には約70名が参加、ちんどん屋による演奏に少し驚きながらも人形劇「ぶんぶくちやがま」の楽しいお話を楽しんでいた。

野崎信輝さん・菊池典子さんに永年勤続民生委員児童委員功労表彰を伝達

この度、本町の民生委員児童委員の野崎信輝さんが北海道社会福祉協議会会長表彰を、同委員の菊池典子さんが全国民生委員児童委員連合会会長表彰を受賞され、11月13日(火)役場町長室で伝達が行われた。

野崎さんは平成9年から、菊池さんは平成6年から民生委員児童委員として地域住民の生活上の相談や生活向上のために尽力されている功績が認められ、今回の表彰となったもの。この日、森町長からお二人にそれぞれ表彰状が手渡された。

民生委員児童委員は住民に最も近いボランティアとして活動しており、本町にも17名の民生委員児童委員が各地区に配置されており、活動している。



認知症などの万が一のときの備えを～成年後見制度活用セミナー～



11月13日(火)公民館で成年後見制度活用セミナーが開催され、地域住民などあわせて20名の参加で行われた。

成年後見制度とは、認知症などの精神上的の障害により判断能力が十分でない方が不利益とならないよう、家庭裁判所に申立てを行って、その人の援助をしてくれる人を付ける制度で、財産の管理や詐欺など被害にあった際でも契約を取り消すことができるもの。

セミナーでは、成年後見制度の概要や実際に他の市町村での活用事例などの紹介を東京大学政策ビジョン研究センター市民後見研究実証プロジェクト特認研究員の齋藤真由美さんより説明があった。

今後、2月以降に後見人養成講座を実施していく予定。

文化・スポーツに功績のあった方を表彰～文化協会・体育協会表彰と交流の集い～

- 文化協会賞**
- ・文化振興賞 酒井佳代子氏
 - ・文化功労賞 野澤 哲美氏
- 体育協会賞**
- ・スポーツ奨励賞 苦前町剣道連盟
 - ・スポーツ功績賞 宮野 巨氏
 - ・スポーツ功績賞 村木 優公氏

11月16日(金)とままえ温泉ふつとで文化協会・体育協会表彰と交流の集いが来賓、両協会会員などあわせて140名の参加で開催された。

両協会で功績のあった方の表彰と相互の交流を目的に開催されているが、本年は、文化協会では2個人、体育協会では1団体2個人を表彰した。

森町長の祝辞の後、文化功労賞を受賞した野澤哲美さんが受賞者を代表し「私たちは苦前が大好きだが、この環境でスポーツや趣味を楽しむことができるのを幸せと思う。受賞を大きな励みとし更なる精進をしたい」と謝辞を述べた。(受賞者は次のとおり)



我が子・孫のお遊戯に成長を実感！ ～苫前保育園・古丹別保育所でおゆうぎ会～



苫前保育園
11月10日(土)



古丹別保育所
11月18日(日)



外は寒いけど、中では熱戦！ ～第21回苫前郵便局長杯ミニバレー大会～

- 混合の部1部
優勝：T. V. C
2位：チーム野村
3位：苫前幸寿園
- 混合の部2部
優勝：光組
2位：ホワイトエナメルズB
3位：雪組
- 女子の部
優勝：マイ・プリンセス
2位：バラいろクロバーZ
3位：りんすい改

11月18日(日)スポーツセンターで苫前ミニバレー愛好会(天谷勝史会長)主催の第21回苫前郵便局長杯ミニバレー大会が、混合の部14チーム、女子の部3チームあわせて90名の参加で開催された。

外はあいにくの天候だったが、スポーツセンターは熱気にあふれた試合が展開され、スパイクやブロックが決まる度に、声援や拍手が飛び交っていた。結果は次のとおり。



努力や挑戦し続ければ夢も花もいつか開く ～子どもの心に響く道徳教育推進事業～



11月19日(月)苫前中学校(外山一正校長)で子どもの心に響く道徳教育推進事業が開催された。講師は、旭川市でガーデンデザイナーの上野砂由紀さんが「花咲け希望！庭づくりは夢づくり」と題して講演が行われた。

上野さんが庭づくりを行った自宅の上野ファームは道内外より年間6万人を集めているほか、十勝方面のいくつかのガーデンと連携し「ガーデン街道」として観光や食へと活動の幅を広げている。

上野さんは「種を蒔かなければ花は咲かない。夢もたくさん持つていけば、そのうちいくつかは花開くときがくる。そのためにも努力や挑戦し続けることが大切」「メールでのつながりもよいが、たくさんの人と出会い、つながることでの新たな広がり生まれる。本当のつながりを大切に」と生徒に投げかけた。

苫前神社の本務禰宜(ねぎ)として着任

平成25年元旦祭は斎主となる予定で、瀧川さんは「役員の方々と協議しながら、取り進めたい」と述べた。今後、交通安全や病氣平癒、七五三などは瀧川さんが行う。

「これから様々な行事を通じて町内の人とかかわりを持ち、早く苫前に溶け込みたい」と述べた。

関武宮司の体調不安によりこれまで不在となっていた苫前神社に、11月1日付で本務禰宜(ねぎ)として瀧川慎吾さんが着任した。

瀧川さんは鬼鹿嶋神社の瀧川司宮司のご子息で、大学卒業後、会社勤めをしていたが、本町の事情を聞いて退職、國學院大学の神職養成課程を学び今年9月に神職の資格を取得、正式に認可を受けた。

禰宜(ねぎ)とは宮司を補佐する立場の神職の職称の1つ。

